

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	機能アップ型スモールステップワンダー		
○保護者評価実施期間	R8年 2月 2日		～ R8年 2月 18日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 16
○従業員評価実施期間	R8年 2月 2日		～ R8年 2月 18日
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 2月 21日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	強み：社会性(集団参加・やりとり・ルール理解)を目的にした支援が充実している。	小集団活動で順番・待つ・譲る・お願い等を具体的に練習し、成功体験	社会性の到達目標(挨拶、順番、断り方等)を段階表で整理し、家庭・関係機関と共有して一貫支援につなげる。
2	ダンス療育・ボルダリング等、身体を使った活動で意欲や自己表現を引き出している。	模倣・リズム・表現を楽しめる構成や難易度調整を行い、達成感	活動のねらい(協調運動、姿勢保持、自己調整、対人ルール等)を見える化し、個別支援計画とのつながりをより明確にする
3	就労準備・生活スキルにつながる作業活動や手先の運動を取り入れ、段階的に力を伸ばしている。	集中・手順理解・丁寧さ・報告等を意識した課題設定を行	評価観点(集中時間、手順理解、正確さ等)を統一し、成長が分かる記録とフィードバックを整備する。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援の評価や目標設定の基準が、職員間で統一されにくい場面がある。	視点や記録内容がばらつきやすく、共通フォーマットの選	観察ポイントと目標設定の基準を共通化し、ケース会議で確認する運用(記録・共有)を徹底する。
2	就労準備・作業活動の「ねらい・手順・評価」が整理されず、活動がやりっぱなしになりやすい時がある。	のバリエーションや段階表が不足し、振り返りが記録に残	課題の段階表と評価指標を整備し、実施後の振り返り(できた点・次の手立て)を必ず記録して次回に反映する。
3	ダンス療育・ボルダリング等の運動活動で、安全管理や配慮事項の統一が必要。	過激、疲労等)によりリスクが変わり、担当者により注意点共	活動別の安全基準(見守り位置、難易度、休憩、禁止事項)を文書化し、事前確認と共有を徹底して統一対応する。